

レバテック IT人材白書 2024



すべてのITキャリアに、挑戦と成長を。



レバテック IT人材白書 2024

1.IT人材を採用する企業の動向

1-1. 回答者属性	3
所属企業の業態	3
所属企業の従業員数	3
1-2. IT人材の採用市場動向について	4
採用人数の変動状況	4
採用予算の変動状況	5
1-3. IT人材の採用方法・採用着眼点について	6
エンジニア採用チャンネル	6
エンジニア採用で重視している点	7
エンジニア採用で重視している人柄・マインド面の要素	8
エンジニア採用で最も重視している経験・スキル面の要素	9
エンジニア採用における課題	10
1-4. エンジニア未経験者の採用について	11
エンジニア未経験者の採用状況	11
エンジニア未経験者採用の開始理由	12
エンジニア未経験者採用における課題	12

2. IT人材の転職動向・キャリアについて

2-1. 回答者属性	13
年齢	13
性別	13
雇用形態	13
職種	14
現在年収	15
所属企業の業態	15

レバテック IT人材白書 2024

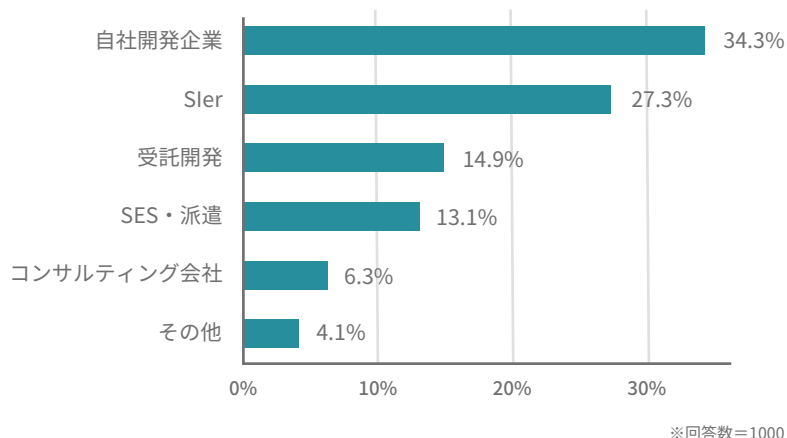
2-2. 現在の業務について	16
現在の業務に対するモチベーション	16
仕事における最も大きなモチベーションの源泉	16
現在の職種で働く上で最も大変だと感じること	17
2-3. 過去の転職活動について	18
転職経験の有無・回数	18
転職理由について	19
企業選びにおいて重視した条件	20
転職による年収の変化	21
2-4. エンジニアのキャリア変遷	22
エンジニア職についたタイミング	22
エンジニア転向前の職種	23
エンジニア転向前のプログラミング学習	24
2-5. 現在の転職意欲・フリーランスや副業への興味	25
現在の転職意欲、想定時期	25
フリーランスへの興味とその理由	26
副業への興味とその理由	28

1.IT人材を採用する企業の動向

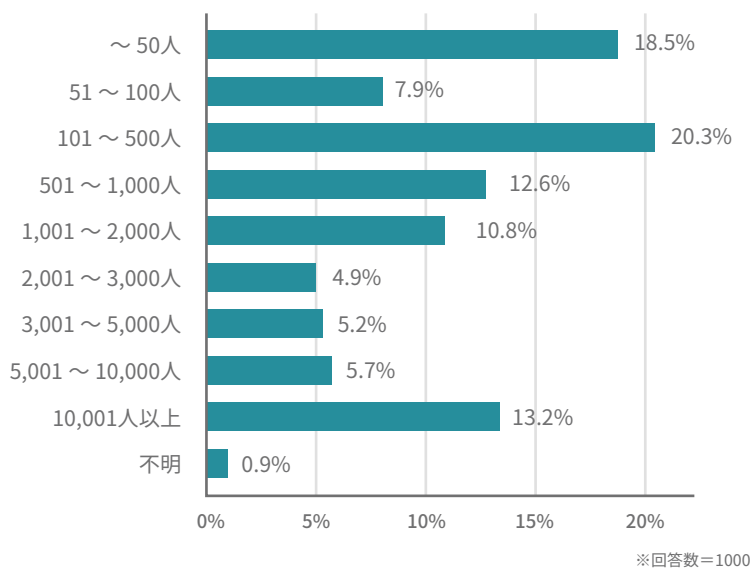
1-1.回答者属性

正社員、派遣社員、業務委託のIT人材（エンジニア、コンサル、デザイナー等を含む）を採用する企業担当者1000名

所属企業の業態



所属企業の従業員数

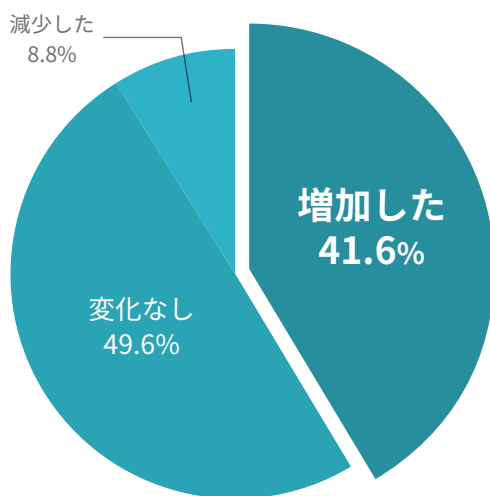


1-2.IT人材の採用市場動向について

採用人数の変動状況

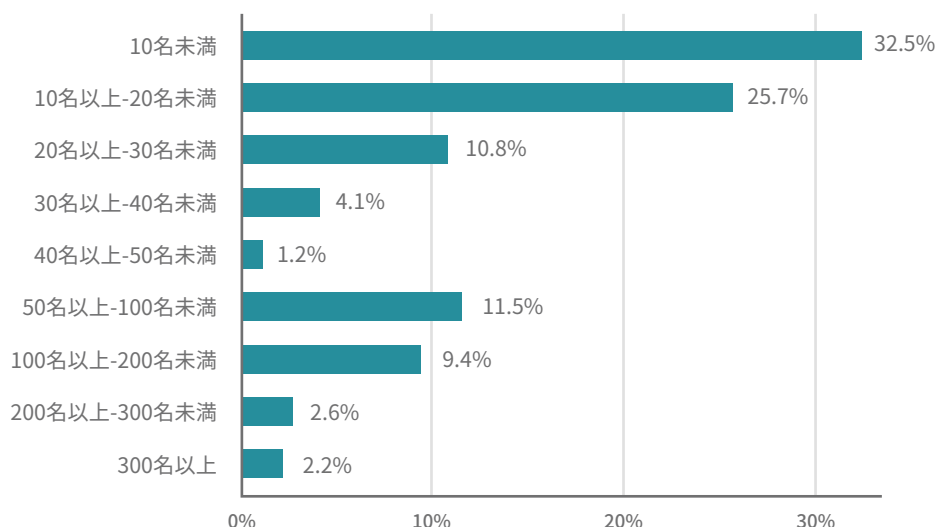
今年度の採用人数について、昨年度と比較して「増加した」と回答したのは全体の約4割でした。「増加した」と回答した企業のうち、最も多かったのは「10名未満(32.5%)」、ついで「10名以上～20名未満(25.7%)」の増加でした。具体的な人数をみると、昨年度と比較し、10名程度採用人数を増加させた企業が多いようです。

採用人数の変動状況 (昨年度比)



※回答数=1000

採用人数の増加 (昨年度比)



※昨年度に比較して、今年度の採用人数が増加したと回答した方 回答数=416

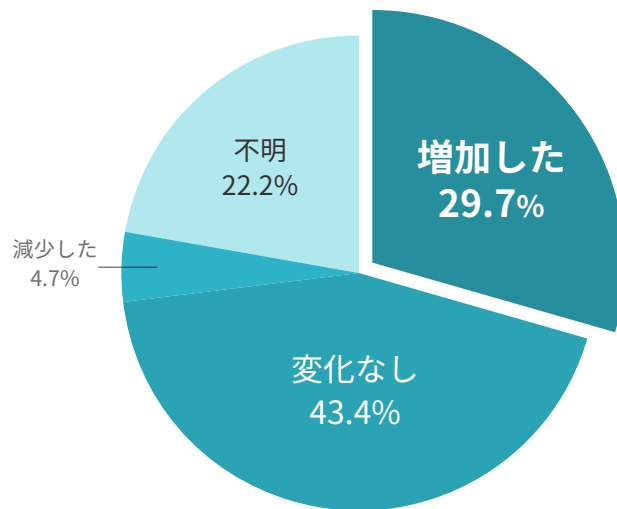
1.IT人材を採用する企業の動向

採用予算の変動状況

採用予算については、約3割が昨年度と比較して「増加した(29.7%)」と回答しました。

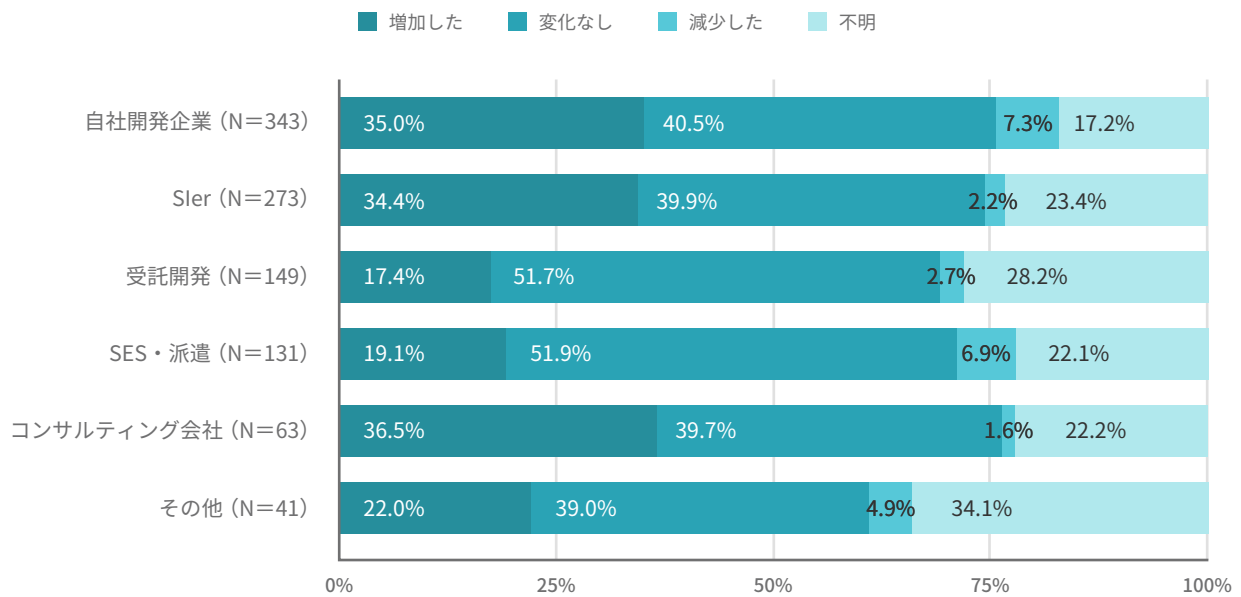
業態別でみると、「コンサルティング会社(36.5%)」が最も採用予算を引き上げており、ついで「自社開発企業(35%)」「Sier(34.4%)」における予算の増加が多くみられました。

採用予算の変動状況(昨年度比)



※回答数=1000

採用予算の変動状況(業態別)

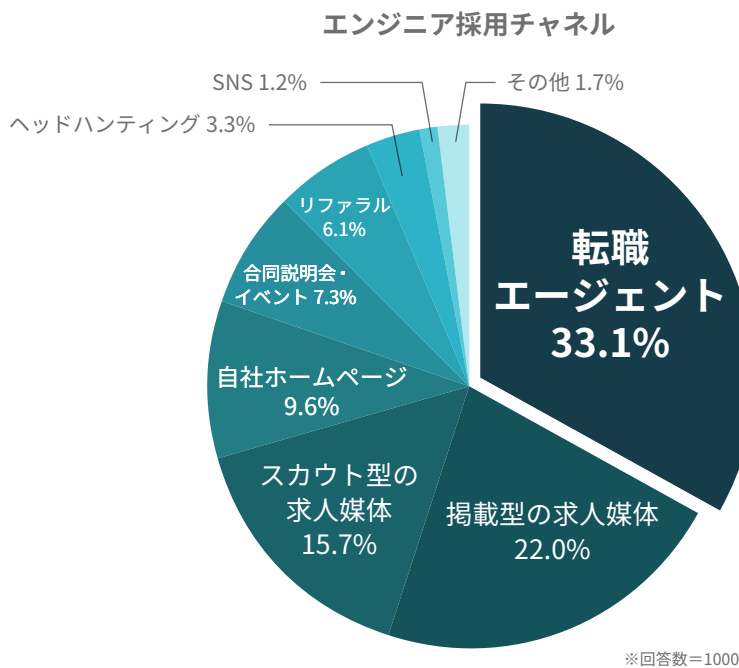


※回答数=1000

1-3.IT人材の採用方法・採用着眼点について

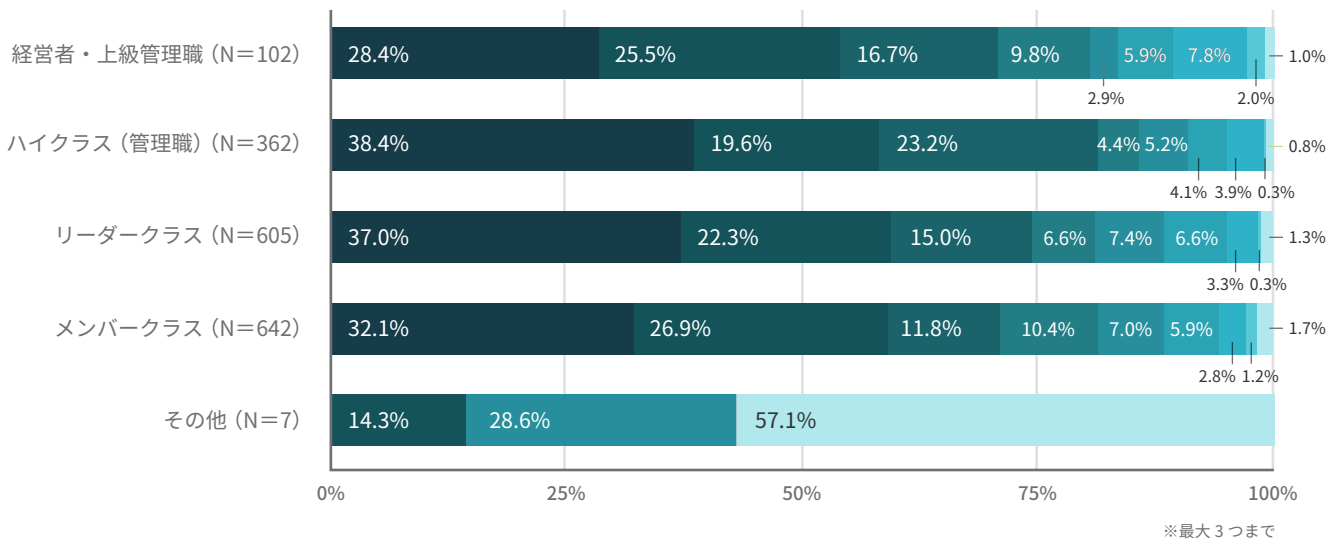
エンジニア採用チャンネル

メインで使用しているエンジニア採用チャンネルは、「転職エージェント(33.1%)」が最も多い結果となりました。ハイクラス(管理職)の募集を行っている企業では、「スカウト型の求人媒体(23.2%)」が転職エージェントについて多く活用されています。人材側からの応募を待つ従来の採用方法ではなく、企業が自らアプローチする攻めの採用を行う動きも見受けられました。



エンジニア採用チャンネル(採用ポジション別)

■ 転職エージェント
 ■ 掲載型の求人媒体 ※自身で応募する形式
 ■ スカウト型の求人媒体 ※企業からスカウトされる形式
 ■ 自社ホームページ
■ 合同説明会・イベント
 ■ リファラル(友人や知人の紹介)
 ■ ヘッドハンティング
 ■ SNS
 ■ その他



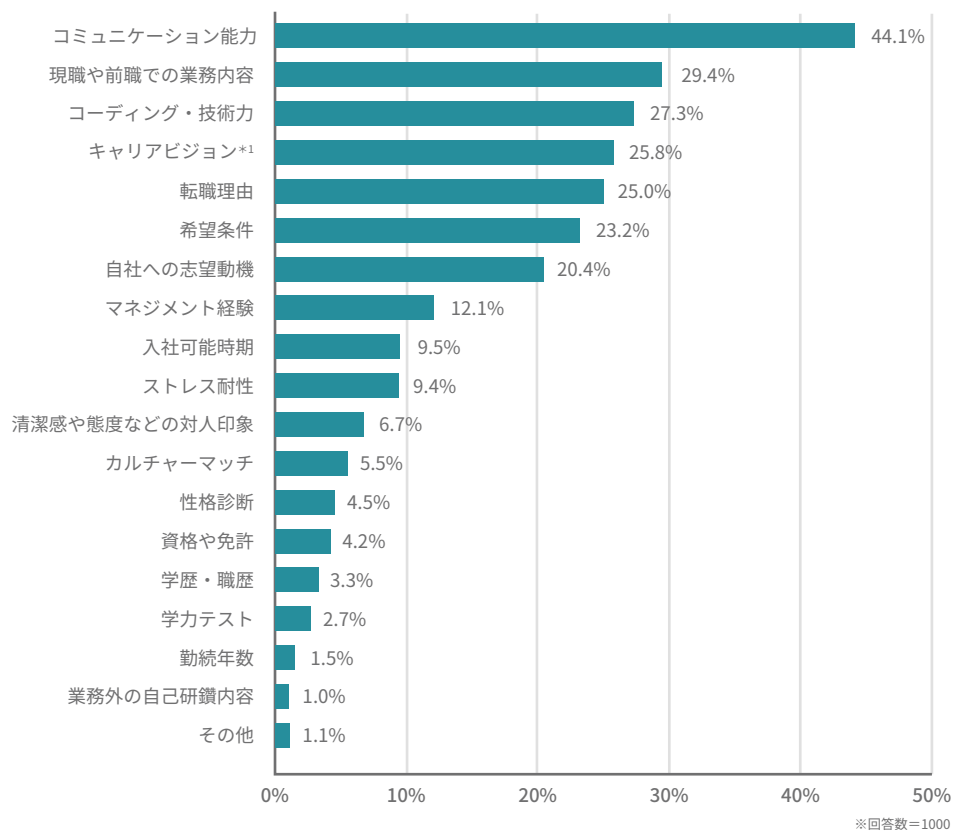
エンジニア採用で重視している点

エンジニアを採用する上で企業担当者が重視している点は、「コミュニケーション能力 (44.1%)」が1位でした。ついで、「現職や前職での業務内容 (29.4%)」「コーディング・技術力 (27.3%)」と続きます。

業態別でみると、社内で開発している受託企業では、約6割が「コミュニケーション能力」を求めており、社内での円滑なコミュニケーションが重視される傾向が分かりました。

顧客の要望を聞いてシステム開発を請け負うSIerや、顧客先で常駐をするSES・派遣企業でも、コミュニケーション能力が比較的重視されているといえるでしょう。

エンジニア採用で重視している点 (最大3つまで)



エンジニア採用で重視している点 (業態別)

※3位まで抜粋

	受託開発 (N=149)	SES・派遣 (N=131)	SIer (N=273)	自社開発企業 (N=343)	コンサルティング会社 (N=63)
1位	コミュニケーション能力 62.4%	コミュニケーション能力 48.1%	コミュニケーション能力 45.1%	コミュニケーション能力 37.0%	現職や前職での 業務内容 31.7%
2位	コーディング・技術力 34.2%	コーディング・技術力 28.2%	キャリアビジョン 31.1%	現職や前職での 業務内容 31.2%	コミュニケーション能力 28.6%
3位	現職や前職での 業務内容 30.2%	キャリアビジョン 26.0%	現職や前職での 業務内容 27.5%	転職理由 希望条件 29.4%	転職理由 27.0%

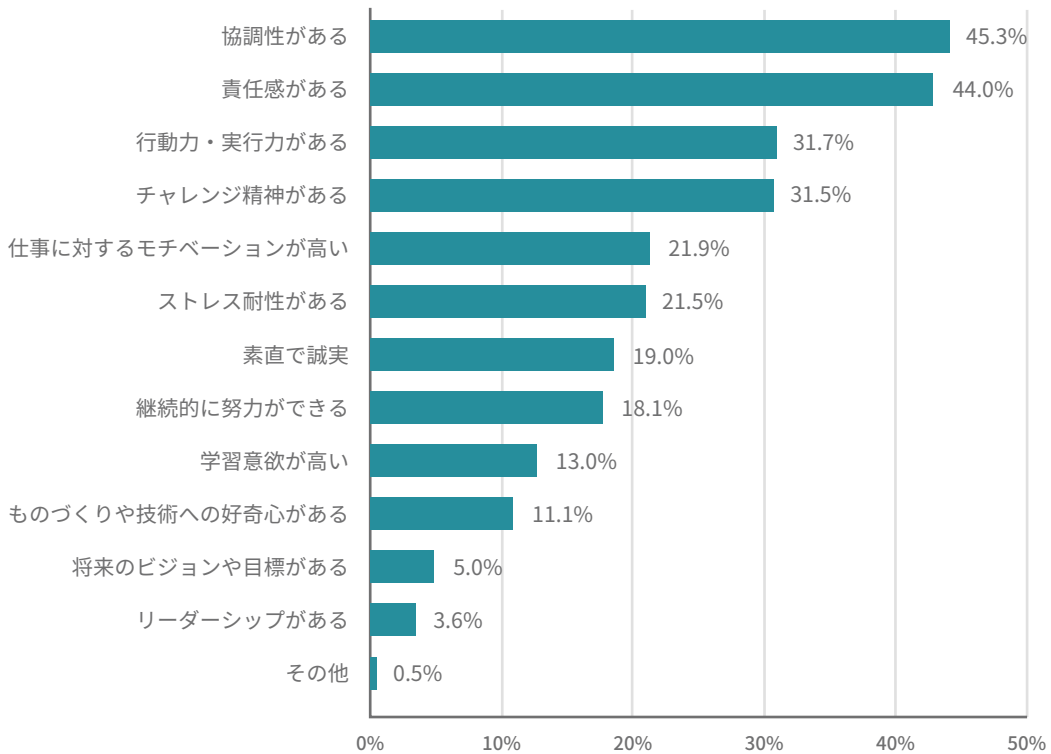
エンジニア採用で重視している人柄・マインド面の要素

人柄・マインド面における採用着眼点は「協調性がある (45.3%)」が最も多く、ついで「責任感がある (44.0%)」、「行動力・実行力がある (31.7%)」という結果になりました。

システム開発はチームで役割分担をしながら作業を行うことも多く、チームワークが大切です。関係者が多いシステム開発において、相手の状況を踏まえて調整や業務を行う能力は、エンジニアにとって重要な要素であるといえるでしょう。

また、システム開発では予期せぬスケジュール変更やトラブルが発生するケースもあるため、最後まで業務を遂行できる責任感や行動力が求められていることが伺えます。

エンジニア採用で重視している人柄・マインド面の要素 (最大3つまで)



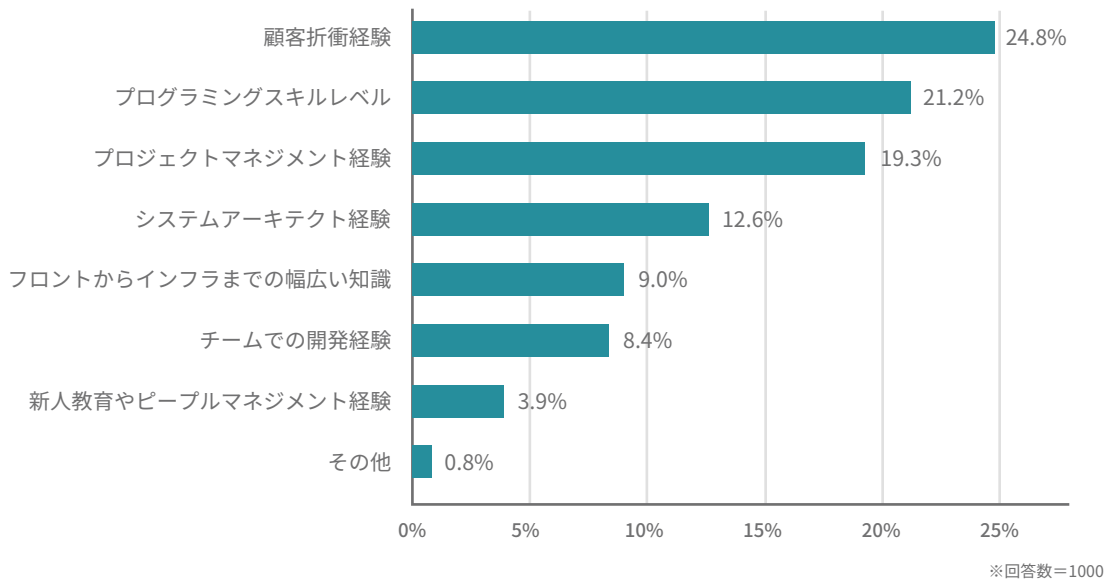
※回答数=1000

エンジニア採用で最も重視している経験・スキル面の要素

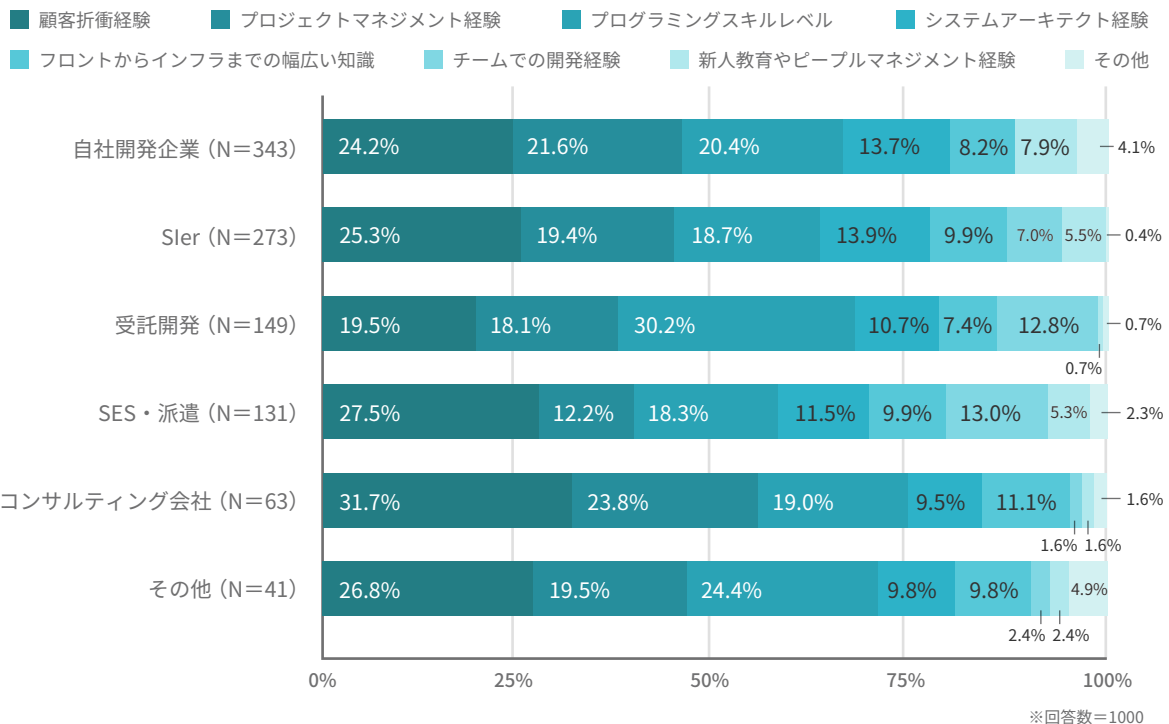
エンジニア採用において、最も重視されている経験・スキルは「顧客折衝経験(24.8%)」となり、次いで「プログラミングスキルレベル(21.2%)」「プロジェクトマネジメント経験(19.3%)」と続きます。

業態別でみると、受託開発を行う企業では特に「プログラミングスキル」が求められていることがわかりました。また、SES・派遣企業では「顧客折衝経験」が重視される傾向にあり、上流工程を担うことができる人材が不足していることが要因と考えられます。

エンジニア採用で最も重視している経験・スキル面の要素



エンジニア採用で最も重視している経験・スキル面の要素 (業態別)

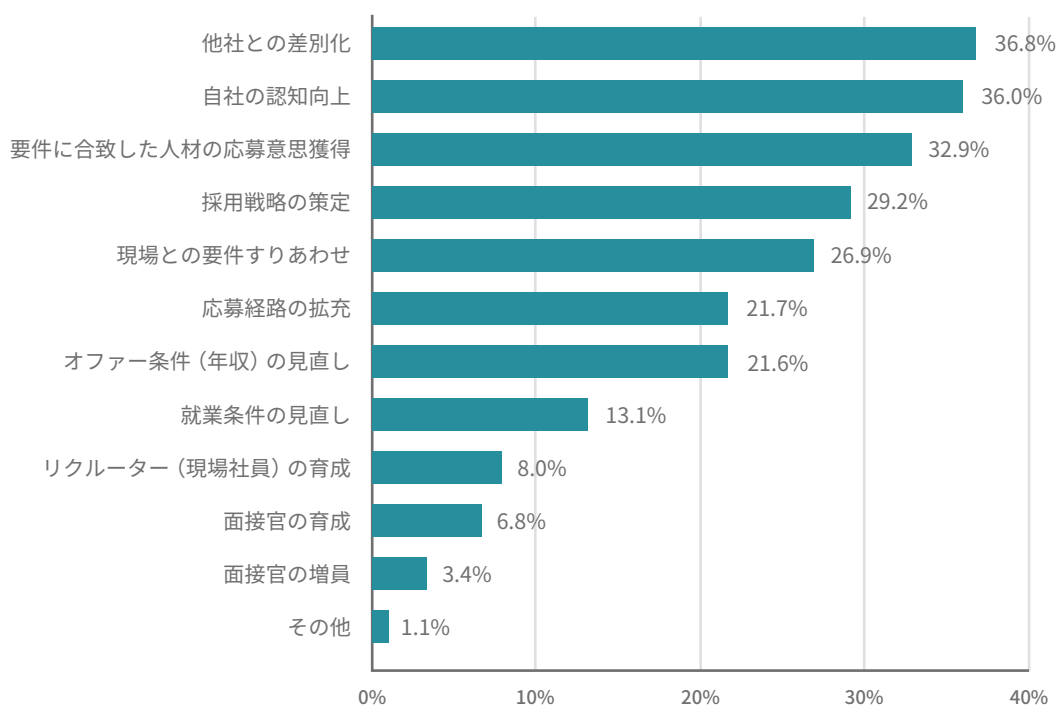


エンジニア採用における課題

エンジニア採用における課題として、「他社との差別化(36.8%)」を挙げた方が最も多く、次いで「自社の認知向上(36.0%)」、「要件に合致した人材の応募意思獲得(32.9%)」が多い結果となりました。

エンジニアの人材獲得競争が激化しているなか、母集団形成や採用対象者の意向獲得が企業の重要課題となっているようです。

エンジニア採用における課題（最大3つまで）



※回答数=1000

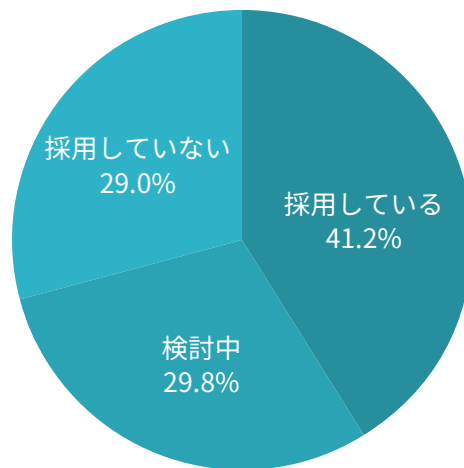
1-4.エンジニア未経験者の採用について

エンジニア未経験者の採用状況

エンジニア未経験者の採用状況については、「採用している(41.2%)」「検討中(29.8%)」という結果になりました。年代別の採用状況をみると「20代前半(30.3%)」「20代後半(35.2%)」の採用実績が特に多く、30代後半から採用実績が少なくなる傾向がみられました。

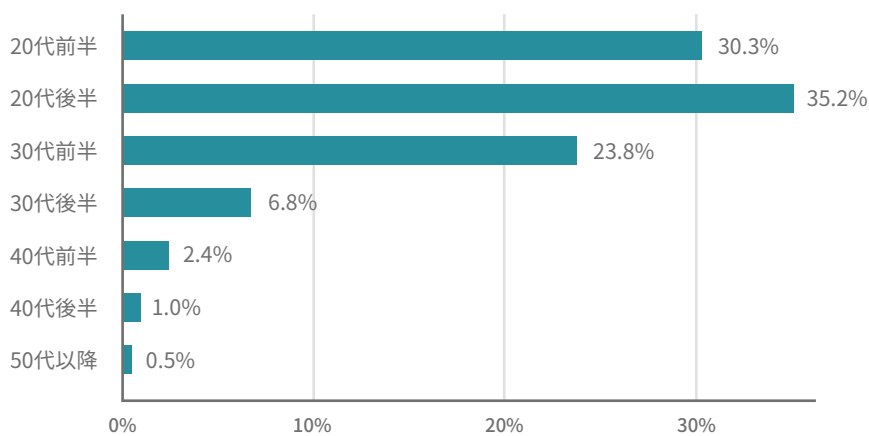
中途採用においても未経験採用の求人はあるものの、職種チェンジを伴う転職は年齢によって難易度が上がるといえるでしょう。

エンジニア未経験者の採用状況



※回答数=1000

エンジニア未経験者の採用実績(年代別)

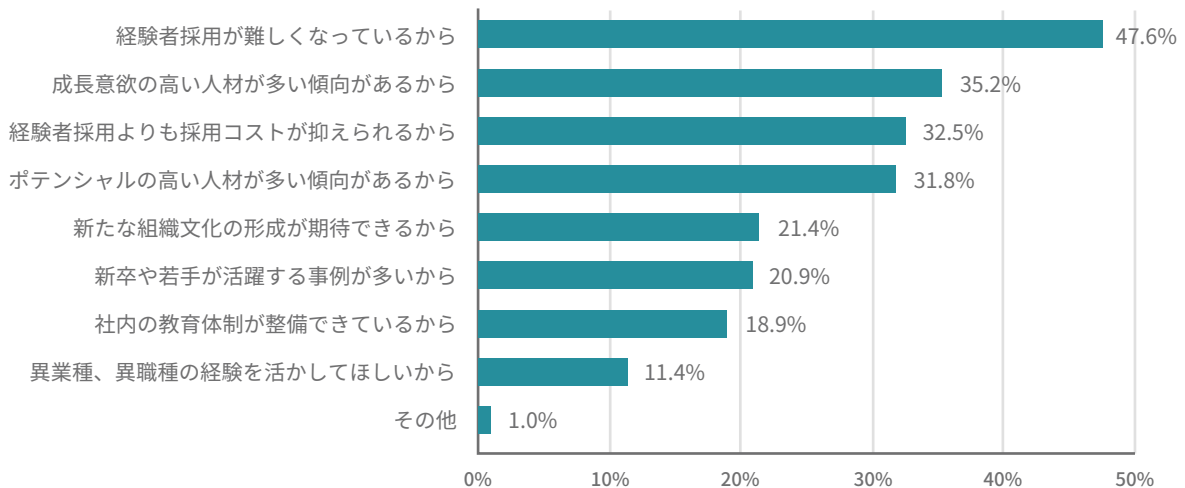


※エンジニア未経験者を採用していると回答した方 回答数=412

エンジニア未経験者採用の開始理由

エンジニアの未経験者採用を開始した理由1位は、「経験者採用が難しくなっているから (47.6%)」となりました。企業がエンジニアの採用人数や採用予算を引き上げる動きがある中、経験者の採用だけでは必要な人的リソースが確保できず、エンジニア未経験者の採用に目を向ける企業も多いことがわかります。

エンジニア未経験者採用の開始理由

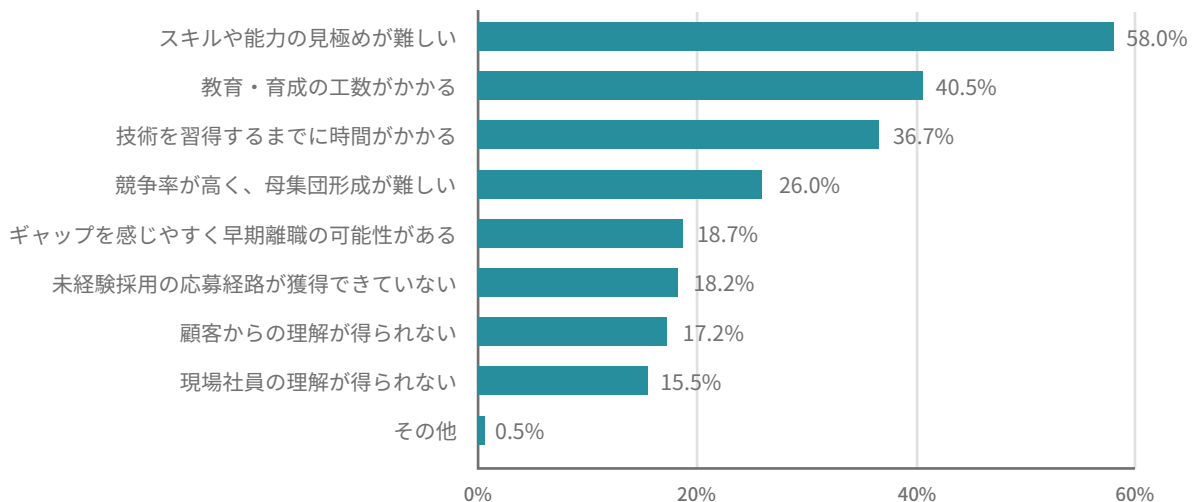


※エンジニア未経験者を採用していると回答した方 回答数=412

エンジニア未経験者採用における課題

未経験者採用における課題は、「スキルや能力の見極めが難しい (58.0%)」が過半数を占める結果になりました。ついで、「教育・育成の工数がかかる (40.5%)」「技術を習得するまでに時間がかかる (36.7%)」など、入社後のフォローに苦労している企業も多いことがわかります。

エンジニア未経験者採用における課題 (最大3つまで)

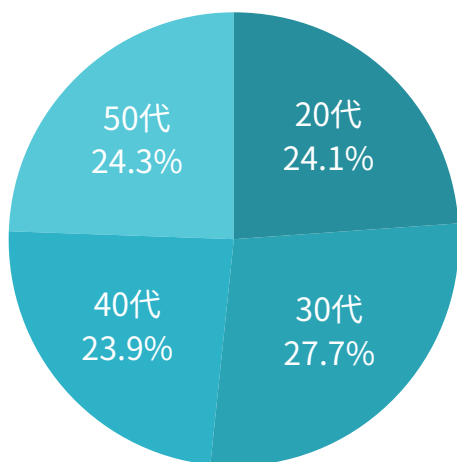


※エンジニア未経験者を採用していると回答した方 回答数=412

2.IT人材の転職動向・キャリアについて

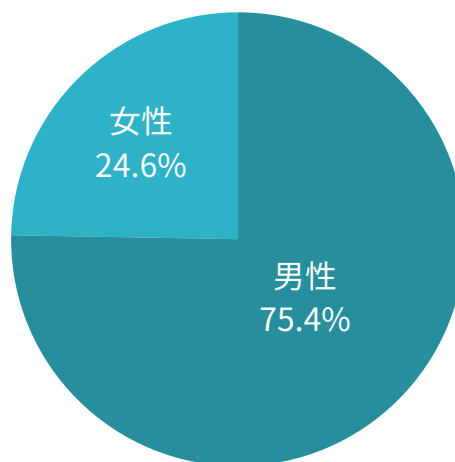
2-1.回答者属性

年齢



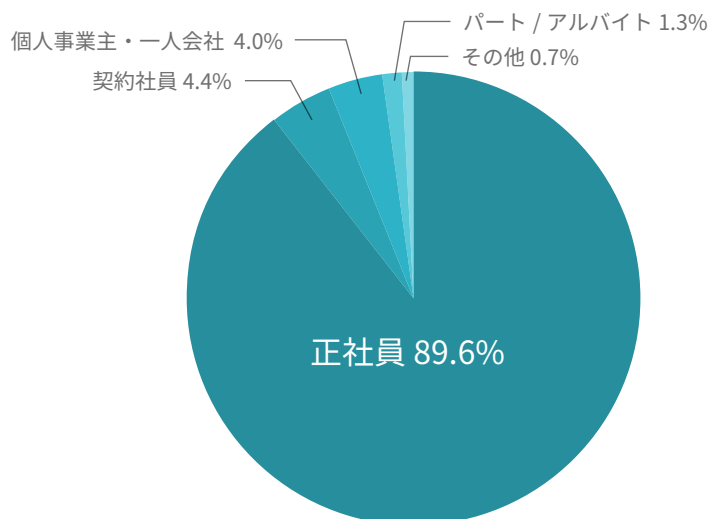
※回答数=3139

性別



※回答数=3139

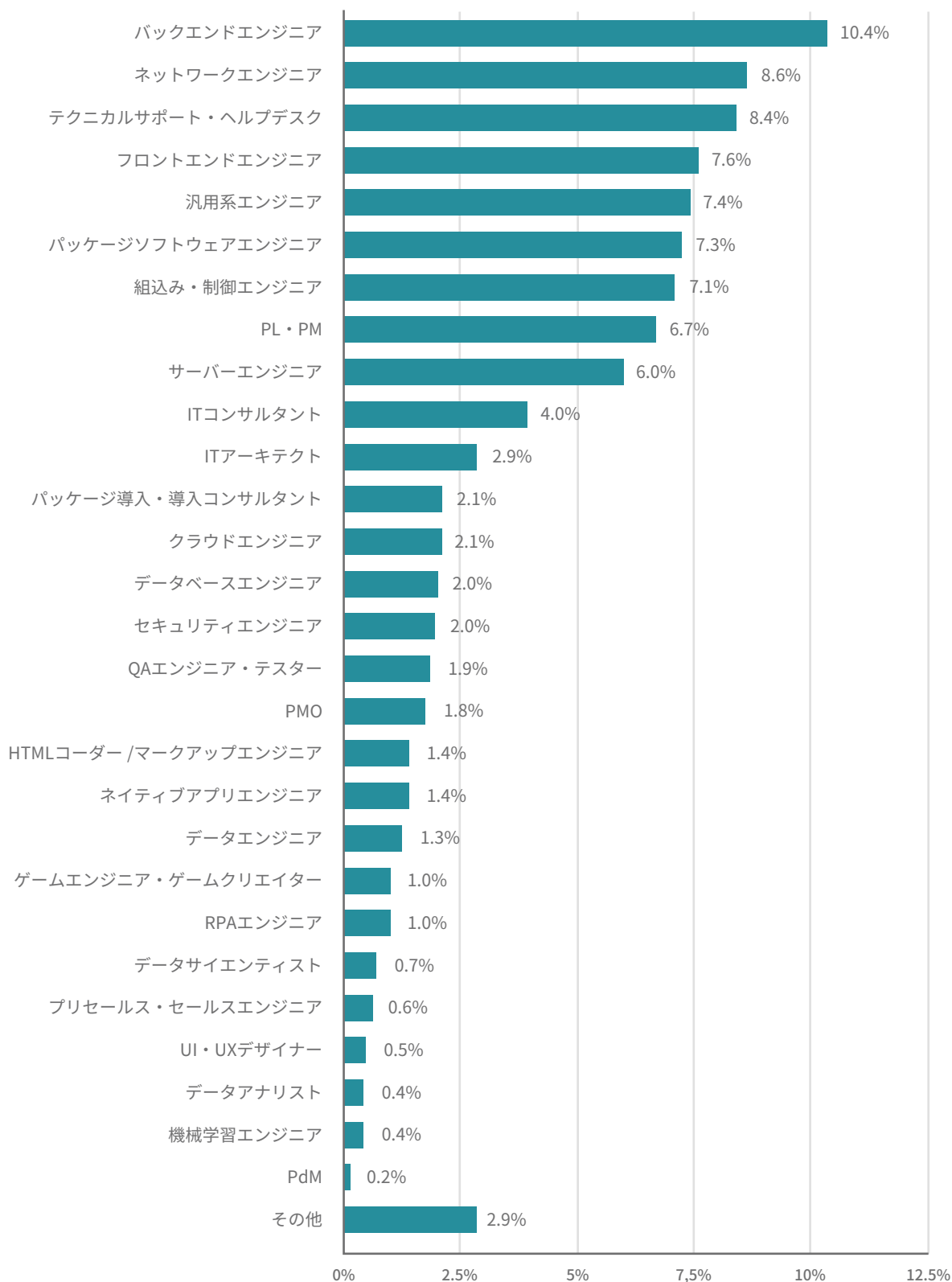
雇用形態



※回答数=3139

2.IT人材の転職動向・キャリアについて

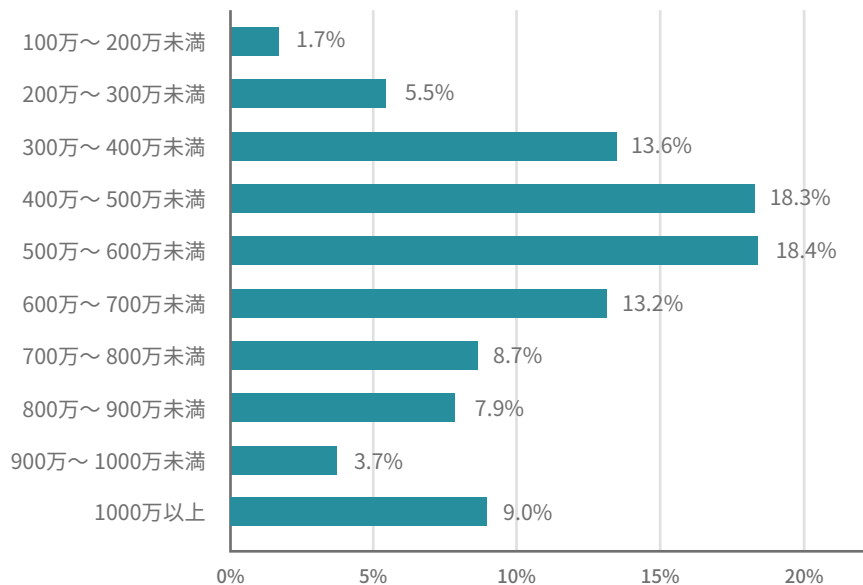
職種



※回答数=3139

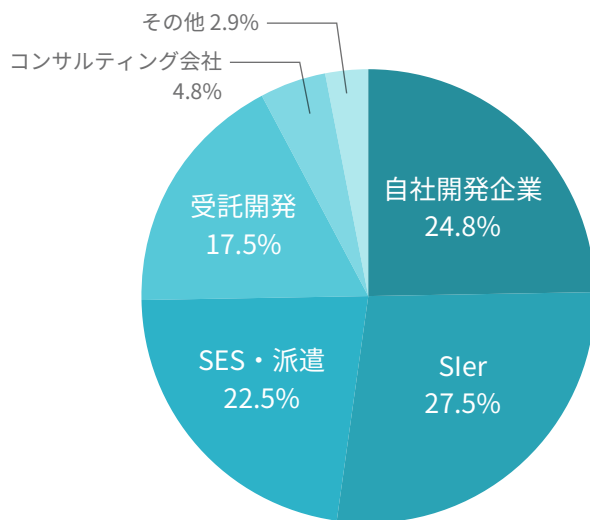
2.IT人材の転職動向・キャリアについて

現在年収



※回答数 =2138 (有効回答のみ)

所属企業の業態



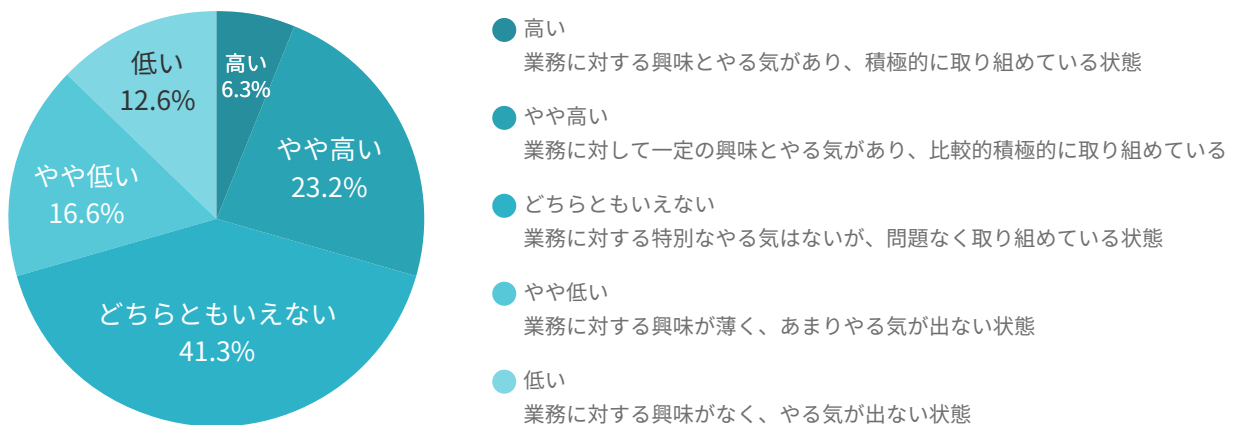
※個人事業主の場合、取引先企業業態 回答数=3139

2-2.現在の業務について

現在の業務に対するモチベーション

現在の業務に対するモチベーションについて質問したところ、「高い」と回答した人は全体の6.3%に留まり、「低い」「やや低い」と回答した人が合わせて29.2%を占める結果となりました。

現在の業務に対するモチベーション

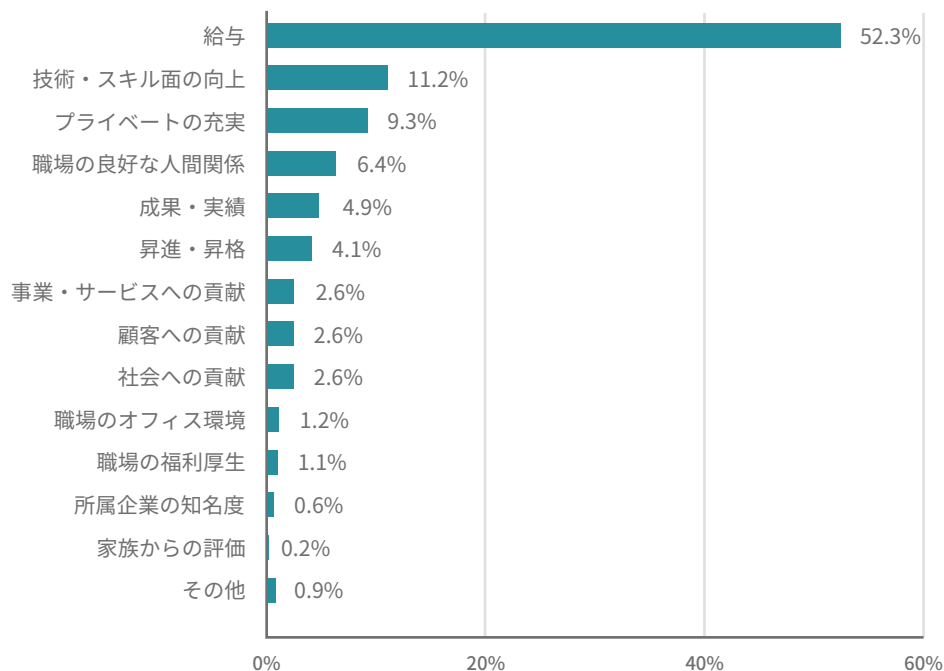


※回答数=3139

仕事における最も大きなモチベーションの源泉

仕事における最も大きなモチベーションは「給与 (52.3%)」となり、給与の増減が社員のモチベーションに密接に結びついているといえます。

仕事における最も大きなモチベーションの源泉



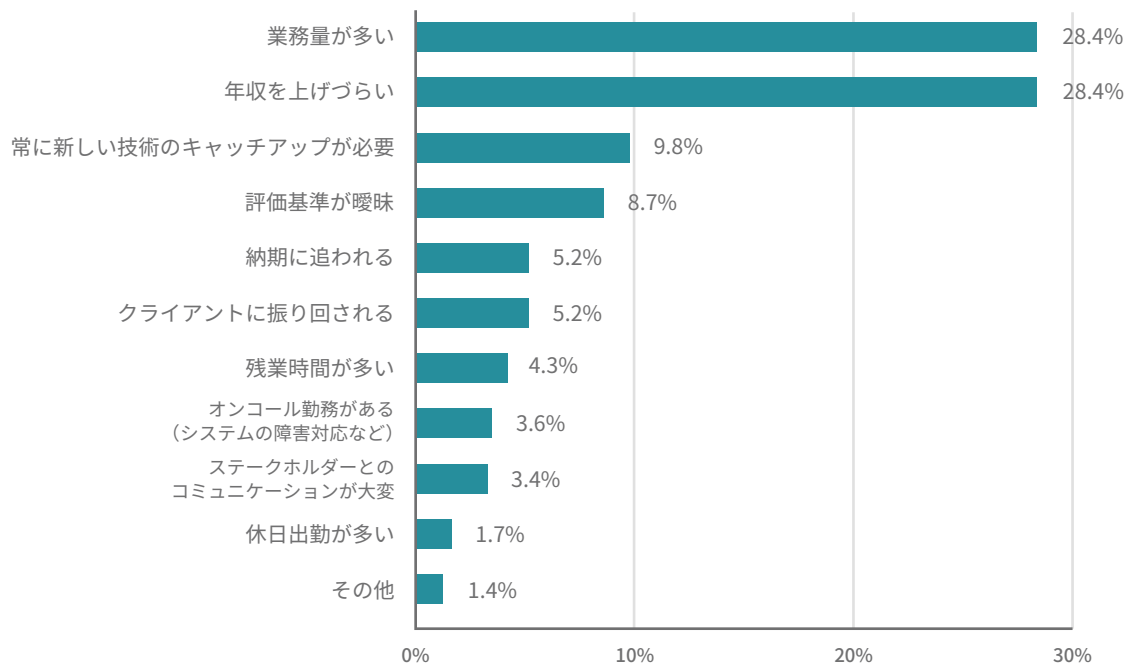
※回答数=3139

現在の職種で働く上で最も大変だと感じること

現在の職種で働く上で最も大変だと感じることは、「業務量が多い (28.4%)」「年収を上げづらい (28.4%)」が同率で1位となりました。

需要が高まる職種である一方、業務量に見合った給与調整が課題といえるでしょう。

現在の職種で働く上で最も大変だと感じること



※回答数=3139

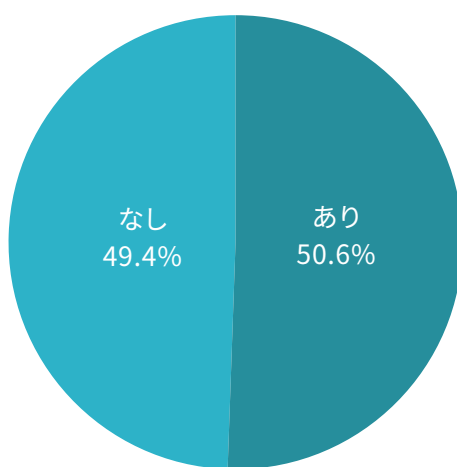
2-3.過去の転職活動について

転職経験の有無・回数

転職活動については全体の約半数が「経験あり」と回答しました。

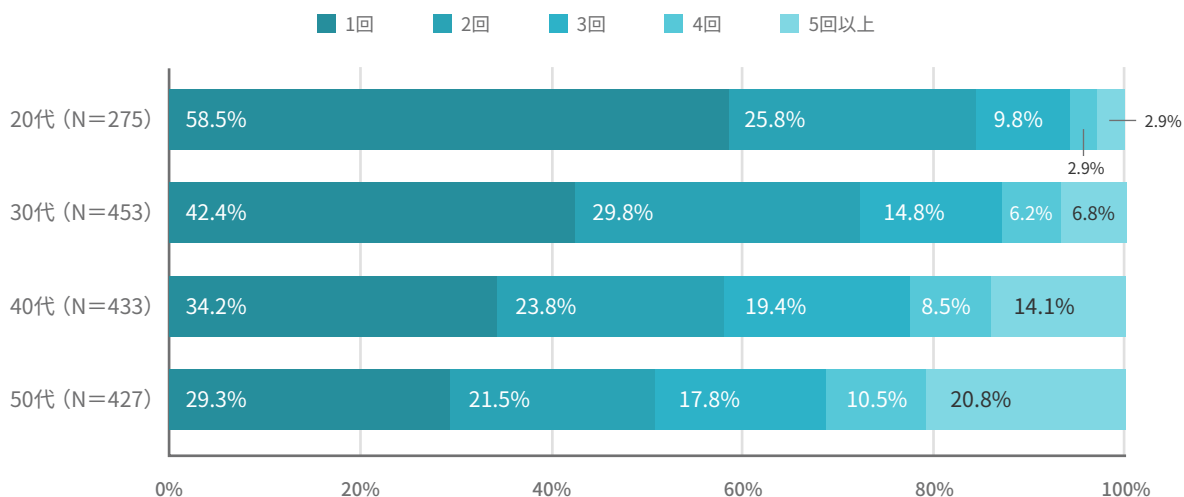
年代が上がるにつれて、転職回数が増える傾向が見られますが、転職経験があると回答した20代でも既に「2回以上」転職を経験している人が4割近くいることが分かります。

転職回数の有無



※回答数=3139

転職回数（年代別）



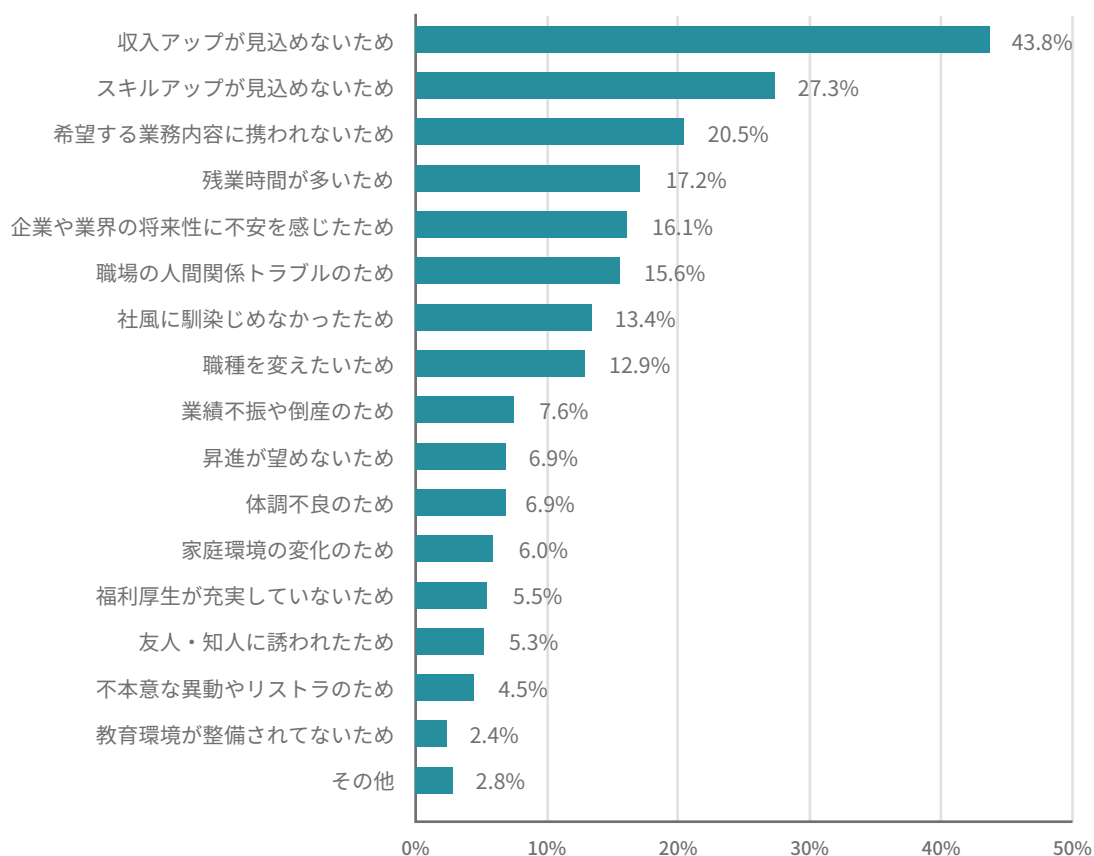
※転職経験ありと回答した方 回答数=1588

転職理由について

転職理由として最も多かったのは、「収入アップが見込めないため（43.8%）」でした。

年代別にみると、50代では「希望する業務内容に携われないため」が2位にランクインし、自身の業務に不満を抱いて転職を検討する人が多いようです。

転職理由（最大3つまで）



※回答数=1588

転職理由（年代別）

※3位まで抜粋

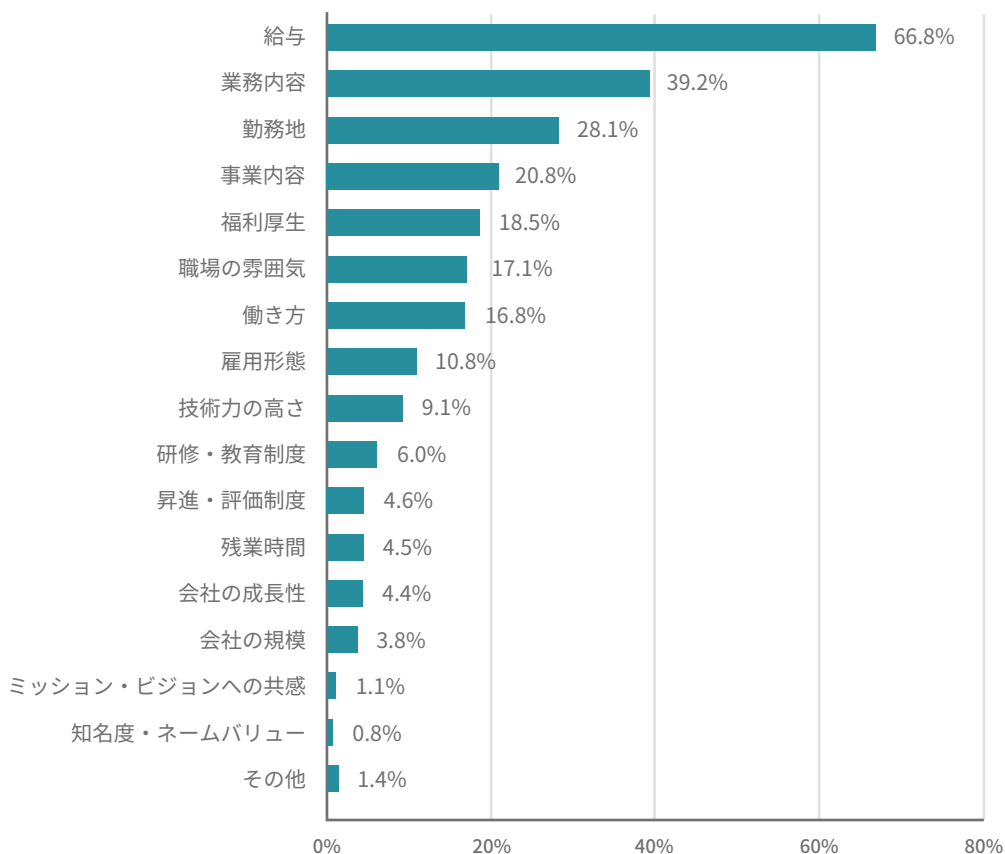
	20代 (N=275)	30代 (N=453)	40代 (N=433)	50代 (N=427)
1位	収入アップが見込めないため 37.1%	収入アップが見込めないため 46.6%	収入アップが見込めないため 47.8%	収入アップが見込めないため 41.0%
2位	スキルアップが見込めないため 33.8%	スキルアップが見込めないため 32.2%	スキルアップが見込めないため 27.0%	希望する業務内容に携われないため 22.5%
3位	職種を変えたいため 23.6%	残業時間が多いため 20.5%	希望する業務内容に携われないため 21.2%	スキルアップが見込めないため 18.0%

※回答数=1588

企業選びにおいて重視した条件

企業選びにおいて重視した条件は「給与 (66.8%)」が1位となり、ついで「業務内容 (39.2%)」「勤務地 (28.1%)」という結果となりました。

企業選びにおいて重視した条件 (最大3つまで)



※回答数=1588

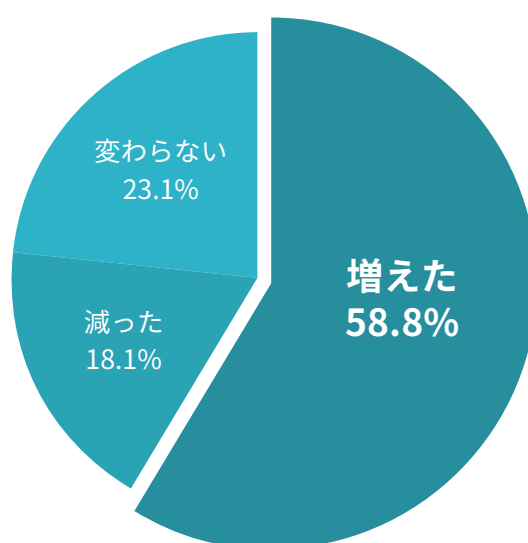
転職による年収の変化

約6割の転職経験者が、直近の転職によって年収が「増えた」と回答しました。

年収の増加幅は「10万以上50万未満(23.5%)」が最も多い一方、100万円以上上がったと回答する人も21.8%存在し、転職によって大幅な年収UPを実現している人もいます。

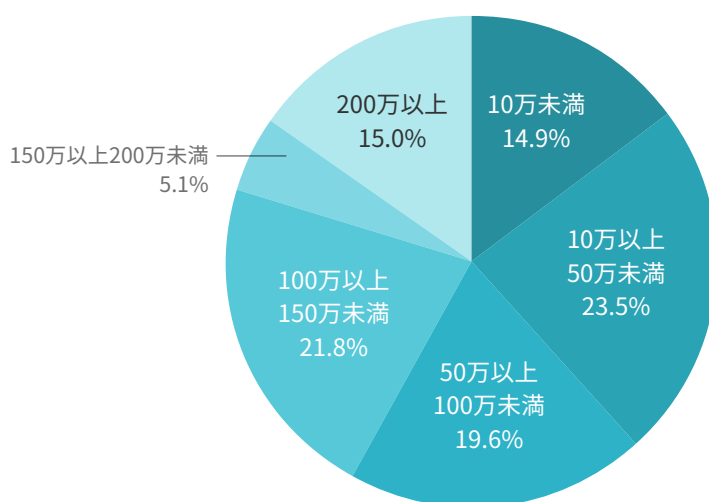
「収入アップが見込めないため」という転職理由が最も多く、実際に転職によって年収が上がった人がいることから、転職市場と照らし合わせた適正な給与をエンジニアに対して提示できていない企業が多いことが分かります。エンジニア採用強化の戦略や離職防止のためには、明確な評価制度の導入や年収水準の見直しが必要であるといえるでしょう。

直近の転職の結果、年収は増えたか



※回答数=1588

直近の転職による年収増加幅



※転職によって年収が上がったと回答した方 回答数=799(有効回答のみ)

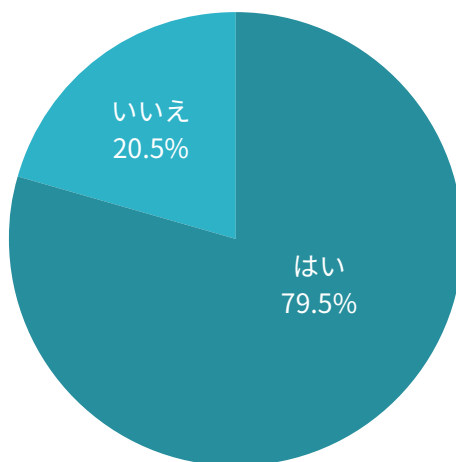
2-4.エンジニアのキャリア変遷

エンジニア職についてのタイミング

現在の職種に関わらず、これまでにエンジニア（SE、プログラマー）として働いた経験があると回答した方のうち、約8割が新卒でエンジニアになったと回答しました。

一方、約2割は他の職種からの転向であることが分かり、未経験でエンジニアにキャリアチェンジした人も見受けられます。

新卒でエンジニアになったか



※エンジニアとして働いた経験があると回答した方 回答数=2342

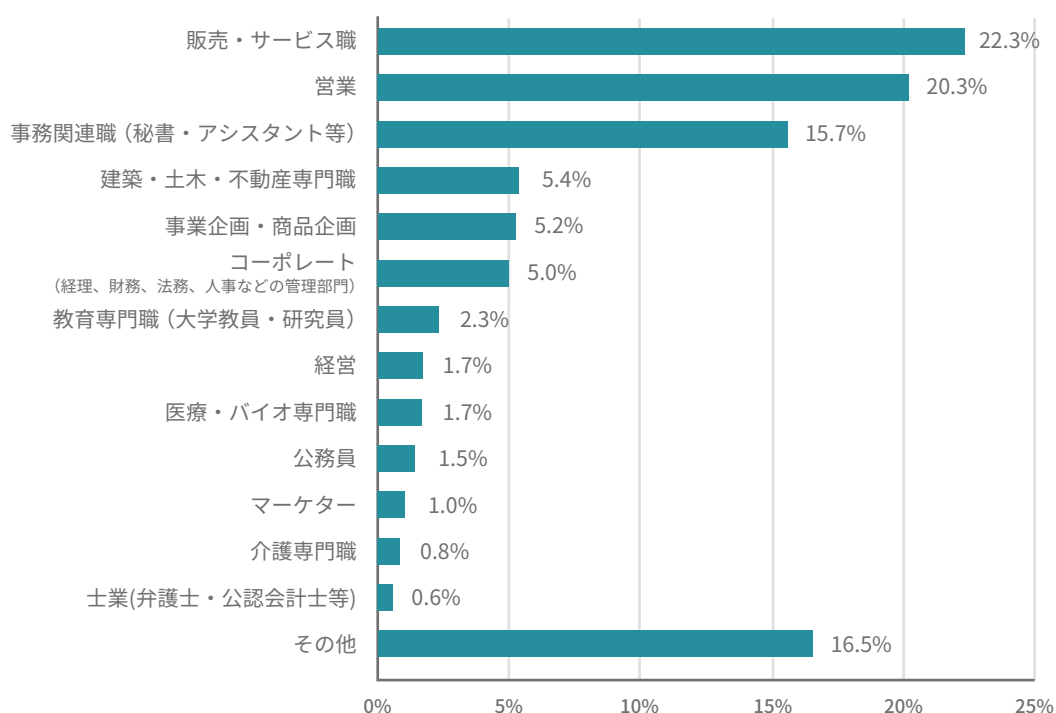
エンジニア転向前の職種

新卒でエンジニア（SE、プログラマー）になっていないと回答した方に対して、エンジニアになる前の職種と現在の職種について聞いたところ、エンジニアになる前の職種は「販売・サービス職（22.3%）」が最も多く、ついで「営業（20.3%）」「事務関連職（15.7%）」となりました。

現在の職種については「バックエンドエンジニア（10.4%）」が最も多く、ついで「ネットワークエンジニア（8.6%）」「フロントエンドエンジニア（7.6%）」が多い結果となりました。

比較的未経験からでもチャレンジしやすいといわれるインフラエンジニアが上位に多数ランクインしていますが、開発エンジニア（フロントエンド・バックエンド）も多く存在することが分かります。

エンジニアになる前の職種



※新卒でエンジニア（SE、プログラマー）になっていないと回答した方 回答数=479

現在の職種（エンジニアになる前の職種別）

※3位まで抜粋

	全体 (N=479)	販売・サービス職 (N=107)	営業 (N=97)	事務関連職 (N=75)
1位	バックエンドエンジニア 10.4%	バックエンドエンジニア 15.0%	サーバエンジニア 14.4%	バックエンドエンジニア 16.0%
2位	ネットワークエンジニア 8.6%	サーバエンジニア 12.1%	ネットワークエンジニア 11.3%	ネットワークエンジニア パッケージソフトウェアエンジニア 10.7%
3位	フロントエンドエンジニア 7.6%	ネットワークエンジニア 11.2%	PL・PM 9.3%	フロントエンドエンジニア 9.3%

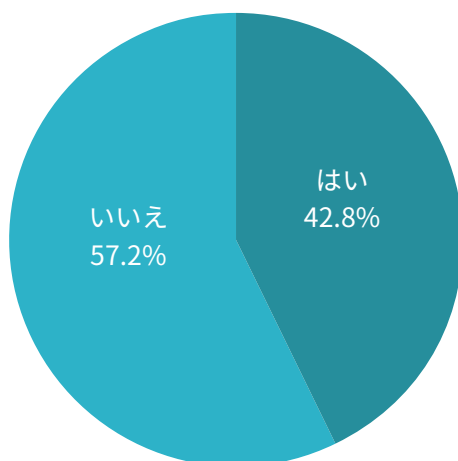
※新卒でエンジニア（SE、プログラマー）になっていないと回答した方 回答数=479

エンジニア転向前のプログラミング学習

エンジニアに転向した人のうち、約4割がエンジニアになる前にプログラミング学習をしていたということが分かりました。

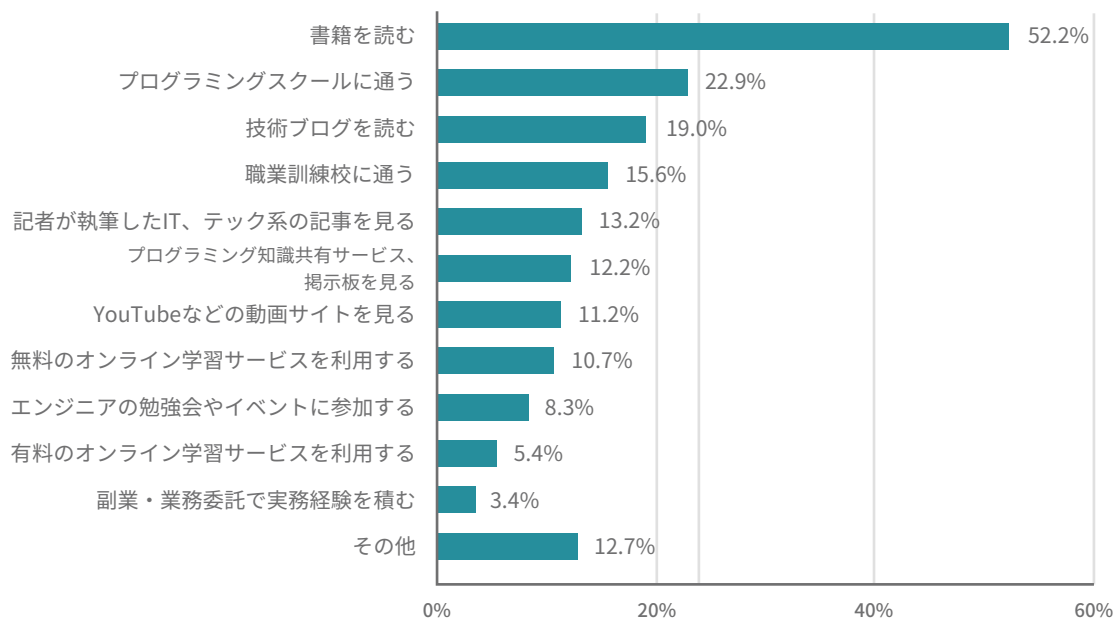
学習方法については、「書籍を読む (52.2%)」「技術ブログを読む (19.0%)」という回答が多い一方、「プログラミングスクールに通う (22.9%)」「職業訓練校に通う (15.6%)」が上位にランクインする結果となりました。

エンジニアになる前にプログラミング学習をしていたか



※新卒でエンジニア (SE、プログラマー) になっていないと回答した方 回答数 = 479

エンジニアになる前のプログラミング学習方法 (複数回答)



※エンジニアになる前にプログラミング学習をしていたと回答した方 回答数 = 205

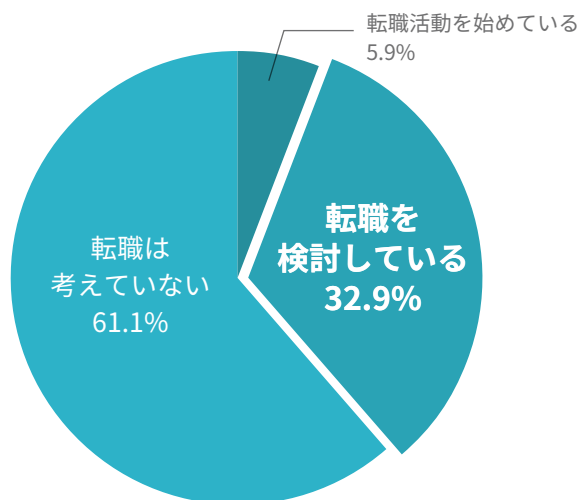
2-5.現在の転職意欲・フリーランスや副業への興味

現在の転職意欲、想定時期

企業で働くIT人材*2に現在の転職意欲について質問したところ、「転職活動を始めている」と回答した人は5.9%だったものの、「転職を検討している」と回答した人は3割を超え、約3人に1人が転職検討中であることが明らかになりました。

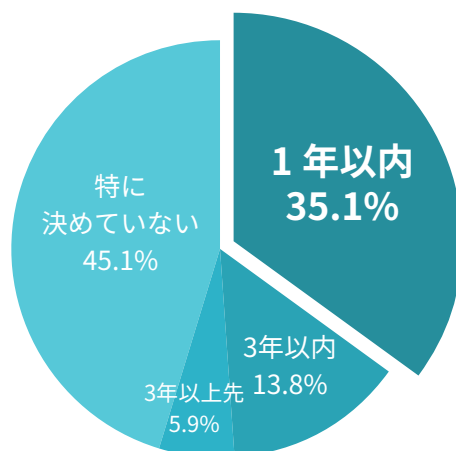
検討中と回答した方へ転職想定時期を聞いたところ、「特に決めていない(45.1%)」が最も多く、「直近~1年以内」と回答した人が3割以上という結果になりました。

現在の転職意欲について



企業で働くIT人材*2：現在の雇用形態が正社員・契約社員・パート/アルバイトと回答した方
※回答数=3014

いつ頃の転職を想定しているか



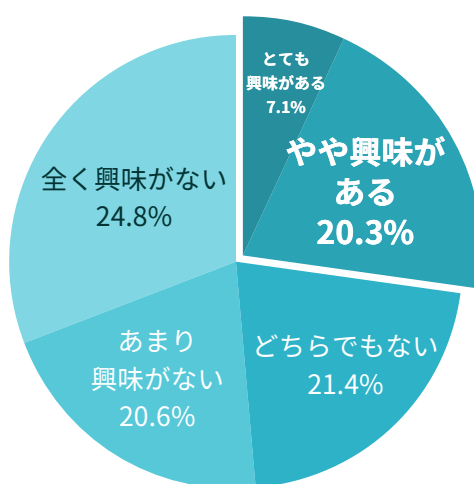
※現在、転職を検討していると回答した方 回答数=992

フリーランスへの興味とその理由

現在企業で働くIT人材*2のうち、フリーランスに興味があると回答した人は27.4%でした。年代別にみると、20代では「とても興味がある」「やや興味がある」を合わせて38.4%となり、若い世代ほどフリーランスに関心を持っていることがわかります。

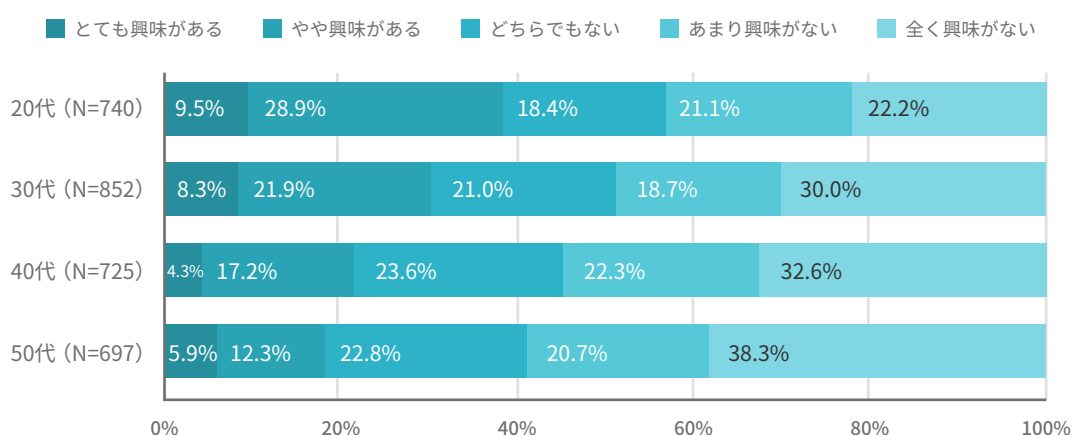
フリーランスに興味がある理由としては、「業務をする時間を自由に選択したいから(49.6%)」「業務をする場所を自由に選択したいから(46.1%)」が多く、時間や場所にとらわれない働き方として、フリーランスに注目する人も多いようです。

フリーランスに興味があるか



※回答数=3014

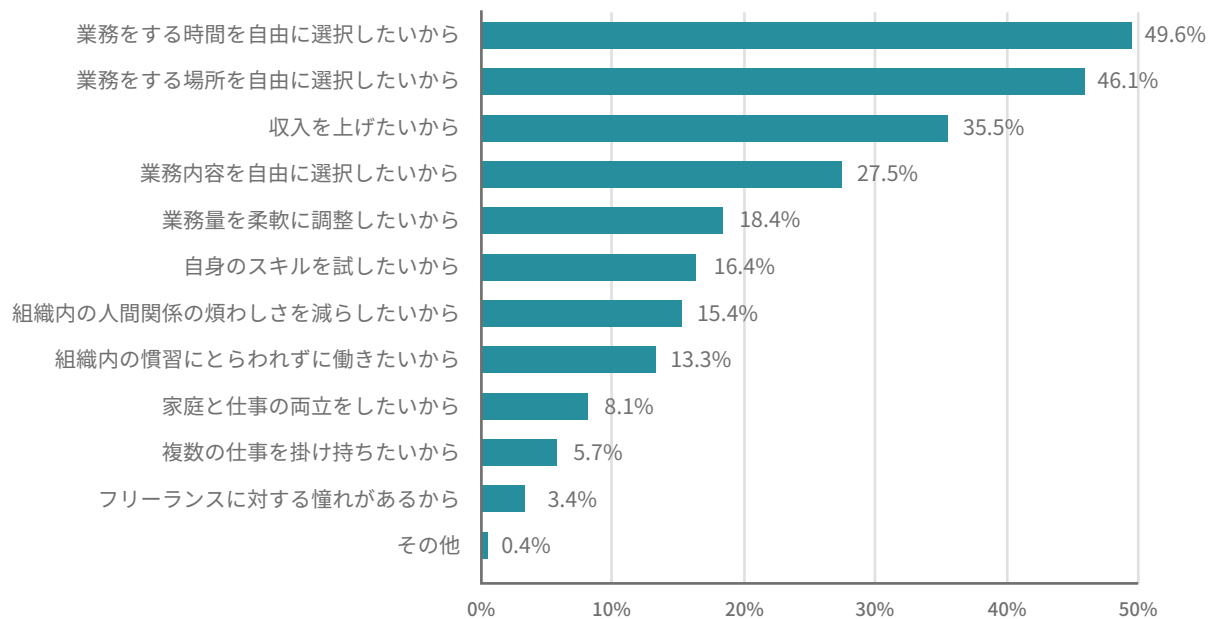
フリーランスに興味があるか(年代別)



※回答数=3014

2.IT人材の転職動向・キャリアについて

フリーランスに興味がある理由（最大3つまで）

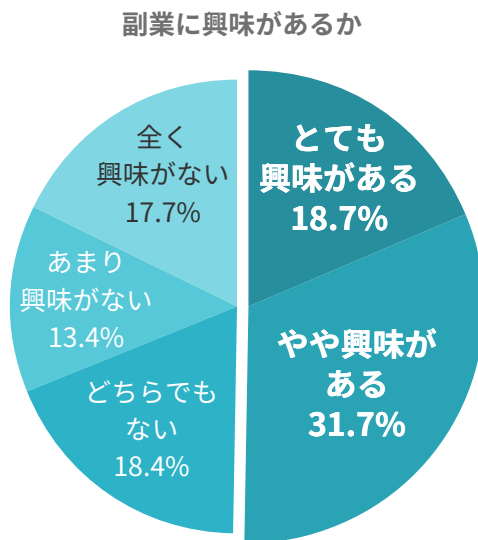


※フリーランスに興味があると回答した方 回答数=825

副業への興味とその理由

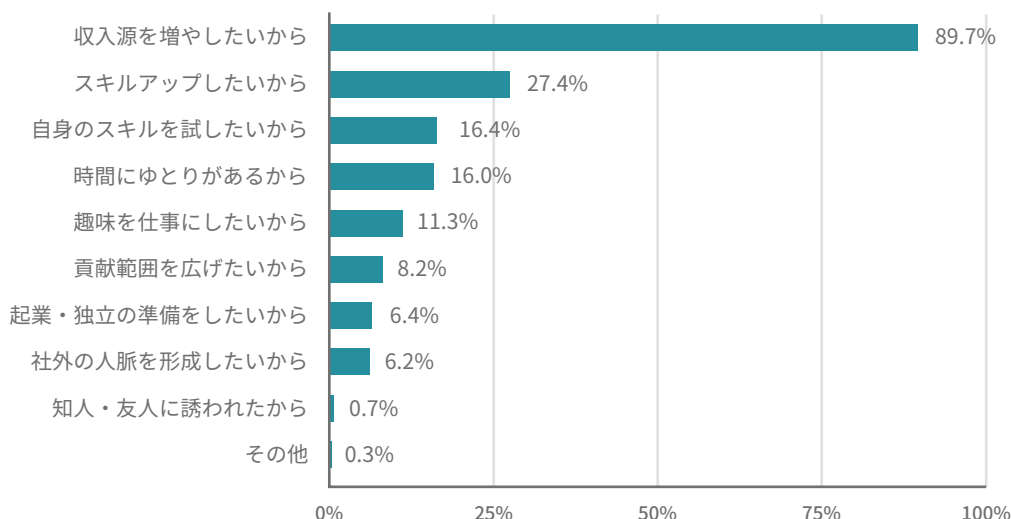
企業で働くIT人材*2のうち副業に興味があると回答したのは50.4%となり、過半数が副業に興味を持っていることが分かりました。

副業に興味がある理由では「収入源を増やしたいから(89.7%)」が最も多く、年収アップを実現するための一つの手段として副業を考えている人が多いことが伺えます。



※回答数=3014

副業に興味がある理由(最大3つまで)



※副業に興味があると回答した方 回答数=1521

レバテック IT人材白書 2024

調査概要

調査年月：2023年11月2日～2023年11月10日

調査方法：インターネット調査

調査主体：レバテック株式会社

実査委託先：GMOリサーチ株式会社

企業側調査

有効回答数：1000s

調査対象：IT人材を採用する企業担当者1000名

IT人材側調査

有効回答数：3139s

調査対象：20歳～59歳 IT人材3139名

発行 2024年1月 レバテック株式会社

